

発症前1週間の勤務状況調査票

発 症 日	勤務時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	備 考
	[勤務状況の詳細等]																										
	[超過勤務時間数] 時間 分 (うち深夜勤務時間数 時間 分)	[超過勤務の業務内容等]																									
月 日 (曜 日)	勤務時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	備 考
	[勤務状況の詳細等]																										
	[超過勤務時間数] 時間 分 (うち深夜勤務時間数 時間 分)	[超過勤務の業務内容等]																									

- 注1 本調査票は、発症日に続き、発症前1週間を発症前日から遡って記載すること。
- 2 「勤務時間」の欄は、業務に応じて、例えば「←○業務→」のように記載するとともに、出退勤の時刻を記載すること。
- 3 「[勤務状況の詳細等]」においては、業務内容、勤務密度（待機的な業務か否か等）等について具体的に記載すること。その他の調査事項についても記載して差し支えないが、記載した場合はその旨を簡易認定調査票に記載すること。「[超過勤務の業務内容等]」においては、超過勤務の業務内容、勤務密度等に加えて、当該超過勤務が必要となった状況等についても記載すること。
- 4 「備考」の欄には、その左の欄に対応し、当該欄の内容の根拠、資料等となったものを記載すること（例えば、「勤務時間」に対応する上段には出勤簿、鍵授受簿、上司等の報告書等を、「[勤務状況の詳細等]」に対応する中段には上司等の報告書等を、「[超過勤務時間数]」及び「[超過勤務の業務内容等]」に対応する下段には超過勤務命令簿等超過勤務の記録、上司等の報告書等を記載すること。）。
- 5 各欄の大きさ及び調査票の分量は、記載内容に応じたものとする。調査の結果を記載する上で必要があれば、各欄の配列を変更し、又は各欄以外の欄を設定する等この様式を変更しても差し支えない。